

# 衆議院議員 池田元久の活動報告 ACTION report

SPRING 2005

## 村岡元官房長官が民主党の集会で証言

民主党の主催で「1億円献金事件の真相をたずねる会」が04年11月17日、国会の憲政記念館で開催されました。日本歯科医師連盟より自民党旧橋本派の幹部に1億円のヤミ献金が渡された事件では、金の受け渡しに同席していた橋本龍太郎元総理、野中広務元幹事長、青木幹雄参議院会長の3人の責任が追及されずに、村岡氏が政治資金規正法違反で起訴されると言う不可解な事態となった。

民主党は、日本歯科医師連盟が大きく金で政策を捻じ曲げたという疑惑と、巨額の金を集めては所属議員に金を配分する派閥の不明朗な会計の実態を明らかにするため橋本元総理



らの証人喚問を要求したが、自民、公明両党が反対し実現できなかった。池田代議士が国会対策総括筆頭副委員長として佐々木秀典予算委員理事と協力して村岡氏にはたらきかけ、村岡氏は民主党の集会に出席することになった。

村岡氏はこの集会で「1億円献金事件は報道によりはじめて知り、会計報告に関してはなんら相談を受ける立場になかった。」と言うことを具体的に説明し、真相に迫る証言した。このことにより橋本元総理らの疑惑は一層深まり、通常国会における証人喚問の必要性がより大きくなりました。

## 年金の問題を終わらせない - 民主党の改革法案提出 -

池田代議士は04年11月19日、民主党の政策責任者とともに公的年金制度の一元化を柱とする年金抜本改革法案を衆議院に提出した。法案は与党の一方的な国会運営によって審議もされずに廃案となったが、民主党は、この通常国会においても納税者番号制度などの導入などを前提にした年金制度一元化の実現を粘り強く主張していきます。

昨年2月の予算委員会で池田代議士は社会保険庁による総額にして6兆3千億円にもおよぶ年金積立金の無駄遣いの問題を追及したが、その改革は進んでいない。

政府与党は民間人を長官に迎え改革を始めているが、民主党が提案する社会保険庁の廃止を含めたより厳しい見直しが必要だ。

